

C-130輸送機による人員降下訓練におけるパラシュートの落下について（口頭要請）

平成31年1月8日、横田基地所属のC-130輸送機による人員降下訓練中に、メインパラシュートが機能せず、予備パラシュートで着地した際、切り離れたメインパラシュートが基地内に落下する事故が発生した。

幸いにも今回は基地内への落下であったが、横田基地では、昨年4月にも、人員降下訓練中にメインパラシュートの不具合により切り離されたパラシュートが近隣の中学校に落下するという同様の事故が発生している。

また昨年12月には、横田基地所属の同型機による東富士演習場での物料投下訓練中に、パラシュートが演習場の施設区域外に落下する事故が発生した。

これまでも再三にわたり再発防止や安全対策の徹底等を要請してきたにも関わらず、パラシュート訓練に起因する事故が短期間のうちに再び起きたことは遺憾である。パラシュートの落下は、一步間違えれば基地外へ影響を及ぼし、人命に係わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものである。

このため、次のとおり要請する。

- 1 昨年4月の事故発生時にすべてのパラシュートの点検を行ったにもかかわらず、同様の事故が起きたことから、徹底的な原因究明を行うこと。
- 2 再発防止策を講ずるまでは、同様の訓練は行わないこと。
- 3 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

平成31年1月9日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
オーティス C. ジョーンズ大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	福生市長	加 藤	育 男
	立川市長	清 水	庄 平
	昭島市長	白 井	伸 介
	武蔵村山市長	藤 野	勝
	羽村市長	並 木	心
	瑞穂町長	杉 浦	裕 之